

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： エレボーススを切り口とした腸恒常性維持機構の解明
2. 研究代表者： 兪 史幹（理化学研究所 開拓研究本部 主任研究員）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、新規細胞死エレボーススを切り口に、ショウジョウバエの高度に発達した遺伝学、ライブイメージング、単一細胞でのトランスクリプトーム解析を組み合わせることで、分化細胞の死と幹細胞の増殖による腸恒常性維持機構の解明を目的としている。

フェーズ1では、ショウジョウバエ腸管における新規細胞死エレボーススを発見し、その制御にユビキチンプロテアソームの関連があることを見出した。機序解明に向けて着実に成果を上げている。

フェーズ2では、ヘムとアンモニアによるエレボーススの制御機構を明らかにし、エレボーススを自在に制御することを計画している。エレボーススの分子メカニズムの全体像を明らかにし、他の細胞死との形態学的・機能的比較を進めることで、エレボーススが一般的な現象と世界的に認識されるようになることを期待する。

以上